

令和4年度第2回堺市東区政策会議テーマ別会議「ひがし歴活」 議事要旨

開催日時 令和4年 6月13日（月） 午後1時30分～午後2時30分
開催場所 東区役所 1階 107会議室
出席構成員 池崎守、稻谷忠美、川上浩、北井道子、坂井茂子、高落俊次、森田法子、米田眞利、渡士晶子
事務局職員 東区役所企画総務課 井上副主査、高嶋、酒井
議題 東区の歴史・文化の発掘・発信～次世代への継承
配付資料
• (資料1) 令和4年度第2回テーマ別会議「ひがし歴活」座席表
• (資料2) 堺市東区政策会議テーマ別会議「ひがし歴活」の取組について
• (資料3) プレツアーコース概要／本開催コース（案）

【会議内容概要】

- 1 事務局から、資料2に基づきプレツアー概要報告、及びルート、催行人数等について意見を求めた。
- 2 意見交換

【各発言要旨】

- プレツアーでは、関茶屋から先が遠く感じた。本番では関茶屋での解説後、出雲大社大阪分祠を通って萩原天神に向かうのがよい。宮司さんの解説、見学もできればなおよい。
- 文化村のエリアに一軒残っているので、文化村と伊勢道は取り上げたいと思う。
- 大美野ロータリーが解説スポットとしてよいと思うので、文化村のところは写真を撮っておく形でいかがか。
- プレツナーでは1万2、3千歩だったのでコースの長さはちょうどよいとは思うが、実施日程によっては暑さ対策がいると考える。
- プレツナーの際も列が長くなったが、本実施の参加者数はどう考えるのか。
- (事) 本実施での参加人数については、前回会議では基本20名としてはという意見があった。プレツナーを体験しての感想としてはそれくらいが適当との感触を持ったが、皆さんはいかがか。
- 参加者数を踏まえて協力者にスタッフとして活躍してもらえばよいと思う。
- 参加人数の規模で対応を変えればよい。
- 募集の締め切りを早めて、参加者数を確定したうえで解説スポットでの対応を決めればよいと思う。
- 応募人数が確定してからの対応検討だと思うが、30～40名程度のほうが対応検討の課題が少ないと思う。
- (事) ツアー形式での参加人数の上限を設定することについて、プレツナーに参

加した感想も踏まえてご意見をお聞きしたい。

- 解説スポットが狭いことや、場所によっては車の通行が気になった。
- 参加人数によっては解説場所の確保が必要になる。
- やはり、参加人数をどうするかが課題だと思う。
- 参加人数が多ければ班分けして対応することも考えられるが、では誰が解説など対応するのかという課題が生じる。全員にコース地図を配布して移動してもらう方法（定点解説での解説資料を配布する案）もある。
- 解説が不可能なスペースしかないスポットでは、近くに移動して写真を示すなどして対応することもできる。
- （事）公道の移動となるのでイベント保険に加入するが、交通事故防止措置、また体調など緊急事態に対応できることを前提にして参加人数を考えたい。
- プレツアーで思ったことだが、参加者にリボンをつけてもらうなどのことが必要と思う。
- 昼食場所の候補となっている店舗の収容人数でいえば、40人程度が限界である。
- 子どもの年齢下限の設定は、地理的なことは知っている地元の方々が対象なので保護者の判断に任せてはいかがか。
- 車いすの方が参加するときの対応は準備（サポート役配置）しないといけない。
- 現時点の決定事項（確定項目）はないので、まず日程・コースの確定、次に募集内容案（方法案）に加え予定人数も記載し、そのうえでこの会議で検討項目を協議して決めていくのはどうか。
- 募集人数は少なくして応募締め切り期日を短めにして結果、追加募集でもよいのではないか。
- 例えば、定点解説のスポットが10あるとすると、10人ではなく3人で対応する手法がある。
- 3人の場合、担当するスポットの立ち位置や説明内容など解説について勉強していただく必要がある。質問は受けないという前提であれば、対応できると思う。
- 定点解説ではなく一緒に歩きながらスポットでの解説が良いと思う。
- それであるなら、やはり30名が最適と思うが全員で40名程度の募集人数でよいと考える。
- 応募の反応が大きかったら次回検討としてはいかがか。
- 40人限定と決めるなら、解説担当も一人でできる。
- 子どもだけの参加は不可にして、親子に加え大人だけの参加も可としてはどうか。
- （事）電子申請システムを使って定数40名で募集設定すると、システム上40名になった時点で募集停止となるので、このシステムで応募受付するのはいかが。

- その方法が良いと思う。
- (事) 実施日程についてはどうか。
- 冬場のウォーキングツアーがよくあるが、寒い時期の実施はどうか。
- (事) 応募から実施までの期間に余裕があれば、もし応募者数が多くなっても対応策が取れる。
- 11月なら気候的にもよいと思うので、11月実施でよいと思う。
- では、23日が農業祭なので11月20日（日曜日）はいかが。
- コースについては、先ほどの提案ルート（萩原天神ゴール）でよいなら現地確認しておくこととする。
- 参加者の評価のうち、インパクトがあるのが食事場所だと思うので、そのコースでよいと思う。
- (事) 11月20日（日）、募集人数は40名で実施することと決定する。
- 大人だけの参加もあるので当初のタイトルで問題ないと思う。子どもだけの参加は不可だが、保護者がいればよい。
- (事) 実施時刻も10時～15時でよいか。
- プレツアーのコースと変更があるが、それでよいと思う。また、最後が萩原天神なので、そこでの見学後に菓子の提供があれば印象に残ると思う。
- 昼食代に加えればよいのではないか。
- 食事と合わせて1500円が適當かなと思う。
- 我々も何らかの役をすることでよいか。
- (事) それぞれのスポットでの解説のときには、地元の皆さんにもご迷惑をかけることもあろうと思うので、その点は皆さんにご協力いただきたいと思う。
- プレツナーのときも私有地をお借りしたが、40人となると先にご挨拶とご協力ををお願いしておくことが必要と思う。
- 次回の会議では、食事の件や提供する菓子の件を決めなければならないと思う。
- カルタ作成事業に関連して、「もののはじまりなんでも堺」というカルタを持参しているので紹介する。
- カルタは子どもたちになじみやすいものが良いと思う。
- (事) 事務局はしっかりと責任を持ちながら対応するが、子どもたちとか地域の方々にも関わってもらいながら進めていければと考える。
- カルタ事業の姿を残すなら、カルタ作成のち区民まつりで大会を開催するのはどうか。
- そうすると、相当大変な作業展開だと思うが、完成して大会実施で終わるのではなく、各校区の子ども会でもカルタを遊んでもらい、区民まつりでトーナメント大会をしてよいのではとのアイデアが浮かんだ。
- 子ども会でもカルタを取り上げてもらうというのは、良いと思う。

- カルタ作りには専念するスタッフが必要だし、スケジュール的には今年度中完成というのには時間がないように思う。
- (事) 44句の題材収集に取り組んでいるので改めてお示しする。
- 題材が決まればその後の工程は困難ではないと思うので、各校区を念頭に置いた題材決定はできるだけ早いほうがよい。
- 子どもたちの関わりも3～5年生が良いと思う。
- 作って終わりでは活動意義がないのでまず、事務局でタイムスケジュール案を作ってほしい。
- 前の会議では、子どもたちには、東区の歴史に親しんでもらう、またそのきっかけづくりのためにカルタで現していることを知ってもらうことが目標だったと思う。
- (事) 現在、事務局のほうで題材（キーワード）を収集しており、改めて提示するのでご意見いただきたい。
- (事) 次回会議日程は、7月27日（水曜日）午後1時30分からに決定する。

3 閉会